

学校への支援と地域の絆づくりをめざして

～「豊洋地区ふるさと下関協育ネット」“HoMeS”（ホームズ）の取組について～ 【下関市 豊洋中学校区】

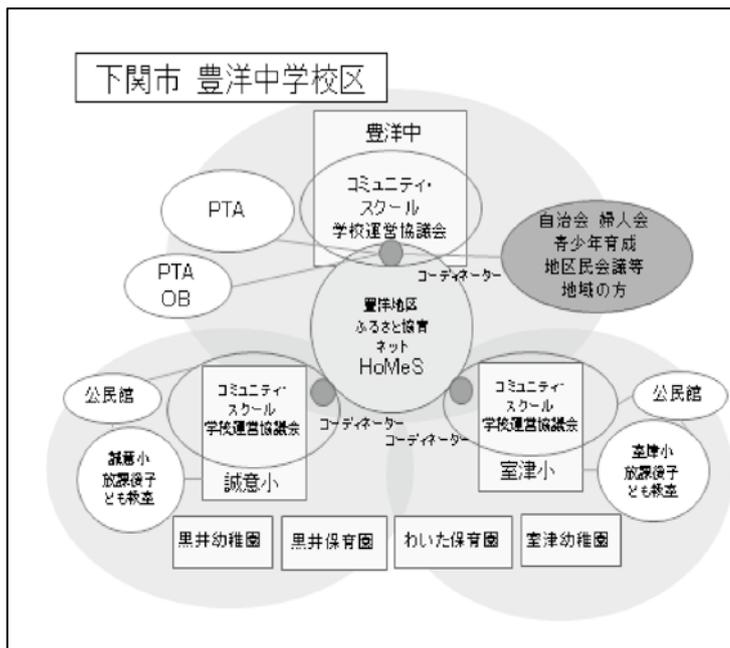
地域の概要

豊洋中学校区は下関市豊浦町の南に位置し、下関市中心部のベッドタウンとして注目されている黒井地域と美しい海がある室津地域からなり、それぞれの地域には地元の伝統を受け継いでいる誠意小学校と室津小学校があります。教育尊重の風土と伝統が受け継がれ、学校教育に対して協力的な地域です。

人口	7,377人	
世帯数	3,340世帯	
対象校及び児童生徒数	豊洋中学校	144人
	誠意小学校	211人
	室津小学校	52人

組織の内容

近年、社会情勢が多様化し、子どもを取り巻く社会的な環境が大きく変化してきました。それに伴って、家庭や地域の教育力の低下や、人とのつながりの希薄化が懸念され、学校教育への関心や期待がますます高まっています。このような状況の中で、平成22年度に、「豊洋中学校支援地域本部“HoMeS”（ホームズ）」が発足しました。元PTA役員を中心メンバーとして結成され、主に学校行事の支援活動を行いました。その後、学校行事のたびに口コミで活動の輪が広がり、協力者が50人を超えるほどになりました。現在では、「豊洋地区ふるさと下関協育ネット“HoMeS”」として、①学力向上、②環境整備、③地域の絆づくりの三つの柱からなる取組を展開しています。昨年度から誠意小学校と室津小学校が「豊洋地区ふるさと下関協育ネット」に加わり、名実ともに3校をつなぐとともに、校区内の青少年育成関係諸団体との橋渡し役を担うようになってきました。今後はPTAとの連携も深めながら、さらに活動の幅を広げていこうと考えています。



特色・重点的な取組

今年度から、小学校にコーディネーターを一人加え、豊洋中学校区でコーディネーターを二人にしました。そのことで、地域との絆づくりをめざした「芝生コンサート」や「どんど焼き」に、これまで以上に小学生や地域の方々が多数参加しました。また、社会福祉協議会のもちつき大会、親子手作り教室での伝統工芸細工など、活動の幅を広げることができました。

学力向上をめざした「自学自習」については豊洋中学校区全体で取り組み、公民館や小・中学校教員の協力も得て、夏休みの自学自習、“HoMeS” 独自で行う「英語寺子屋」などを実施しています。「英語寺子屋」には地域の人材を活用し、地域の方が英語の先生としてボランティアで参加しています。また、“HoMeS”の活動として、小学生と中学生を対象にした英語検定、漢字検定も行っています。英語検定では、ボランティアの英語の先生にもお願いして、面接試験の練習などに力を入れています。漢字検定では、保護者や地域の方も一緒に受験されており、地域の活性化にも一役買っています。小・中学校独自の特色ある取組については、各学校で実施しています。

また、“HoMeS”のコーディネーターが、各学校の学校運営協議会のコーディネーターを兼ねることにより、コミュニティ・スクールと「地域協育ネット」がリンクするようにしています。

主な活動の紹介

○ 豊洋中学校での取組

- ・学校支援活動の企画・運営 ・各種ボランティア活動の依頼
- ・芝生コンサート（6月） ・自学自習（黒井公民館で実施、8月）
- ・どんど焼き、書き初め大会（1月）
- ・英語検定、漢字検定の企画・運営
- ・家庭教育への啓発、地域のお祭りへの出店 等
- ・職場体験学習支援、図書室の整備
- ・学校行事での物品搬送やバザーの実施、駐車場の整理、
- ・芝生の管理、樹木の^{せん}剪定 ・コミュニティ・ルームの運営



豊洋中学校文化祭バザー

○ 室津小学校での取組

- ・自学自習（室津小学校で実施、7・8月）
- ・室津漁業協同組合の協力のもと、室津海浜清掃の実施（8月）
（地域の方々、保護者、教員、児童 75名参加）
- ・「一人暮らし高齢者の方との会食会」での「箸おき」づくり
（コーディネーターが調整し、児童が製作）
- ・地域の方々との交流でクラフトバッグ作り
- ・行事前の環境整備 ・学校行事での安全見守り



室津小「箸おき」づくり

○ 誠意小学校での取組

- ・自学自習（黒井公民館で実施、8月）
- ・「誠意小夏祭り」の実施（打合せ会議、模擬店出品、出演 等）
- ・行事前の環境整備 ・学校行事での安全見守り



「誠意小夏祭り」模擬店

成果と課題

“HoMeS”を結成して6年が経ち、“HoMeS”の名前もようやく浸透してきました。“HoMeS”の活動を通して、学校応援団員として参加する人が増え、その結果、地域の教育力も徐々にではありますが高まってきたように思います。また、今年度から、室津小学校に新しくコーディネーターが加わり、今まで以上に小・中学校の活動等の調整が行いやすくなり、参加者の増加などのメリットがあります。

今後は、学校の地域貢献を進めていきたいと考えており、「豊洋地区ふるさと下関協育ネット」とコミュニティ・スクールの、更なる一体的な推進を図っていくことが課題です。

今後の取組

“HoMeS”は現在、各学校の学校運営協議会の意向を実現する学校応援団として組織されています。これまでも、小・中学校それぞれで、学校や地域のためになることを見つけて実践してきました。平成28年度からは、更に学力向上に力を入れ、英語検定・漢字検定に加えて、小学校での算数検定の実施を計画しています。それぞれの学校運営協議会の意向を大切にしながら、“HoMeS”の活動の輪を広げ、子どもたちと地域をつなぐために、今後も地道な活動を継続していきたいと考えています。